

日本臨床環境医学会 2023 年度第 1 回編集委員会議事録

日時：2023 年 6 月 23 日（金） 15 時～16 時

場所：近畿大学 11 月ホール 2F 会議室 新

出席者：鍵 直樹、佐藤 勉、木村 穰（編集事務局）、吉田貴彦

欠席者：東 賢一、石竹達也、森 千里（委員長）→会議開催を坂部理事長に委任、

記録

1. 新編集委員について

森委員長が次期総務担当理事就任の予定であることから、森委員の後任として平久美子理事を新編集委員として選任した。

2. 編集委員長の交代について

森委員長が次期総務担当理事就任の予定であることから、会則第 IV 章第 9 条により理事長が指名する編集委員長について佐藤 勉理事を候補とすることで一致した。

3. 印刷所について

現在の印刷所は 2023 年度より東海大学外部の扱いとなったため、「臨床環境医学」31(2)印刷費が 275,341 円とこれまでの 2.5 倍近くになっているが、当面同じ印刷所を利用する。ただし、理事長所属の千葉大学内依頼先の印刷所にも廉価で依頼できるかどうか見積もりをとっていただくこととした。現在は印刷所の使用するインク等での健康被害は考慮しなくて良いものと思われる。

4. 超過ページ料金の請求について

オンライン化が進んでいるとはいえ、ある程度のページ数制限は必要であるので、現行通り（刷り上がりで 10 ページを超える 1 ページにつき 15,000 円）とする。

5. カラー図版代金の請求について

冊子体での問題ではあるが、モノクロ図版を WEB 上ではカラー図版としてデータを得ても印刷価格に変化がないかどうかを現印刷所に確認する。冊子体におけるカラー図版代金はこれまで通り、編集事務局より別途請求する。

6. 別刷 30 部の無料進呈について

これまでの無料進呈を廃止し、希望者には実費料金を請求する。ただし依頼原稿である場合は別刷 30 部までは無料とする。

7. 「臨床環境医学」発刊状況について

「臨床環境医学」31(1)は2022.9.20に発刊。石川哲初代理事長の追悼弔辞5名のほか、相澤顧問による学会発足30周年記念特別寄稿論文等を掲載。「臨床環境医学」31(2)は吉野顧問による学会発足30周年記念特別寄稿論文及び第30回日本臨床環境医学会学術集会奨励賞受賞記念論文などを掲載。発刊は遅れて2023.5.31に発刊。

8. 「臨床環境医学」の今後の発刊予定と内容について
「臨床環境医学」32(1)には第30回日本臨床環境医学会学術集会会長賞受賞記念論文、各分科会2022年度活動報告、第31回日本臨床環境医学会学術集会を終えて(仮題)などが掲載予定であるが、掲載決定の他の論文がないため、理事を中心に、今回の学術集会の会長賞、奨励賞受賞者やシンポジスト等に記念論文を依頼する。また森理事、野崎理事を候補として、研究室紹介などのシリーズものを次号から続けていってはどうか、という提案があり、出席者全員異論なし。
9. 「臨床環境医学」製本化
2022年度に「臨床環境医学」Vol.16-20, 21-25, 26-30の製本化を終了。本部事務局で保管。
10. 「臨床環境医学」国会図書館への納本
2022年度に2冊ずつ(東京本館と大阪分館)「臨床環境医学」Vol.16-30の納本を済ませた。結果、創刊号から30(2)の国会図書館への納本が完結した。-
11. 「臨床環境医学」国会図書館オンライン資料収集制度(eデポ)利用
12. 上記の冊子体納本に加え、HP上の「臨床環境医学」URLを知らせておけば、自動的に国会図書館の方でファイルを収集し、一般の方がWEB検索できるシステムがあることを知り、先週申し込みを終了した。
13. 「臨床環境医学」事務局移転について
東海大学医学部分子生命科学内から東海大学医学部生体構造学領域(代表:佐藤勉編集長)に事務局を移転することが了承された。
14. 環境アレルギー分科会による書籍出版
環境アレルギー分科会の「住まいとアレルギー対策—室内環境からのアプローチ」が抜報堂より2023年5月に出版された。

以上